

こさい議会だより

# ぎかいのひろば

No. 206 9月定例会

令和5年10月31日発行

- 2 わたしたちのお金、何に使った？
- 5 9月定例会ではこんなことが決まりました
- 8 そこが聞きたい!!一般質問
- 13 議会報告会を開催します
- 14 あの質問、どうなったの？

特集

## わたしたちのお金、 何に使った？

(令和4年度決算審査)



令和4年度各会計決算を以下の委員会において審査を行った。

# わたしたちのお金、

## 何に使った？

令和4年度各会計決算を認定

今回は決算特別委員会の中から、

いくつかの質疑を **PICK UP!**

### 決算特別委員会

→ 一般会計

### 総務経済委員会

→ 国民健康保険・後期高齢者医療事業決算

### 福祉教育委員会

→ 介護保険・病院事業決算

### 建設環境委員会

→ 公共下水道・水道事業決算

## 令和4年度各会計決算

会計区分		決算額	
		歳入	歳出
一般会計 ※		280億2,582万8千円	257億1,896万7千円
特別会計	国民健康保険事業	55億7,611万4千円	52億5,557万4千円
	介護保険事業	43億1,423万2千円	39億3,999万7千円
	後期高齢者医療事業	8億3,049万5千円	8億2,996万8千円
企業会計	公共下水道事業	収益的収入	収益的支出
		12億6,691万3千円	12億3,898万4千円
		資本的収入	資本的支出
		10億1,799万9千円	13億2,314万9千円
	水道事業	収益的収入	収益的支出
		12億4,716万7千円	10億4,744万3千円
		資本的収入	資本的支出
		1億8,583万2千円	6億9,246万2千円
	病院事業	収益的収入	収益的支出
		32億8,718万7千円	30億2,461万2千円
		資本的収入	資本的支出
		2億542万円	3億813万6千円

※＜一般会計における歳入と歳出の差額の内訳＞

3億4,434万7千円：年度内に完了しなかった事業に対する経費の一般財源分（繰越明許費）

9億8,500万円：市の貯金（財政調整基金）への積立て

9億7,751万4千円：翌年度への繰越し

## ふるさと納税

**問** ふるさと納税における件数、金額の減少の要因は。

**答** 全国的にふるさと納税の好調ぶりが伺える中、本市の件数、寄附金額ともに減という実績の要因は、主力返礼品としているうなぎの人気の、ふるさと納税制度がスタートした当時よりも下がっているという現状に加え、寄附額が同程度の場合、内容量が本市より多い自治体に寄附をする傾向が強いと把握している。今後は、寄附件数が増加傾向にある『体験・宿泊』などの返礼品造成を目指し、ふるさと納税の増加に向けた対策に取り組んでいく。

## 市民意識調査

**問** 市民意識調査の結果を踏まえた課題は。

**答** ここ数年、湖西市に住みにくい理由として、医療サービスが充実していない、買い物や外食、公共交通機関が不便、悪臭が気になるといった点が上位に挙げられている。また、高齢者、障害のある人、性的マイノリティの方々にとって住みやすいかという質問に対しては、「思う」、「まあまあ思う」を合わせた割合がいずれも5割を下回っている。これらの課題解決のため、持続可能な地域医療体制の構築、公共交通の利便性の向上や効率化など、多岐にわたる施策を継続して取り組む必要があると考える。

## 火葬場

**問** 事務事業評価では「入出火葬場の新居斎場への速やかな統合が求められる。」となっていたが、課題は。

**答** 入出火葬場での火葬業務は、令和4年度89件で全体の13.7%である。施設の老朽化や公共施設再配置計画から、新居斎場への統合の方針が定められている。統合後の新居斎場の安心安定的な稼働を目的とした修繕などの実施や、斎場周辺に道幅が狭く見通しの悪い道路があることから、利用される方や地域の方の安全を確保するため、令和4年度より新たな道路整備に着手した。まずは、この道路整備を着実に進めることと考える。

## 商工業振興

**問** 商工振興事業で商工会が行った委託事業の実績は。

**答** 湖西市商工会へ委託している湖西市商店街活性化事業では、コーディネーター1名を設置し、鷺津駅前ひまわり広場での「夜市」、新所原駅での「笑喜南マルシェ」など、年間を通してイベントなどを開催した。賑わい創出や市内飲食店との連携強化など、一定の効果があったと考える。新居町商工会へ委託している湖西市中小企業支援コーディネート事業には、近隣の高校3校、市内企業14社が参加し、参加企業から好意的なご意見を頂いており、市内企業に興味をもってもらうことで、職住近接のきっかけになるものと評価している。引き続き、両商工会と連携し、事業を進める。

## 移住定住

**問** 移住定住促進事業は前年度より185万円増額しているが「新婚さん」の実績が低迷している要因は。

**答** 移住定住促進事業の主な増額理由は、『わ～くわく「こさい」で新生活奨学金返還支援補助金』と『住もっか「こさい」定住促進奨励金』の申請件数が増加したことである。一方、『新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金』の令和4年度実績は、申請47件、転入者65人と令和3年度より減少した。令和2年度以降、市に届出のあった婚姻数と同じような増減傾向で、申請件数の減少と増加を繰り返している。要因は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの社会情勢の変化が、若者の婚姻に影響を与えているものと考察する。

## 森林保護

問 松くい虫防除のための薬剤散布の効果はどうか。

答 松くい虫被害対策については、太平洋沿岸の新居から白須賀までの保安林において静岡県および東京大学と共同で薬剤散布を実施し、松枯れの防止に努めている。また、市が管理する浜名保全林で、立ち枯れした松の伐倒駆除を実施している。薬剤散布による防除の効果も100%ではないため、今後より効果的な散布方法を検討するとともに、伐倒駆除による被害の拡大防止に注力していく。

## 教育環境

問 小学校トイレの洋式化はどこまで進んでいるのか。すべてが洋式化するのはいつになるのか。

答 令和2年度時点で小学校トイレの洋式化率は27.1%であったが、令和4年度末で43.7%となった。新居小学校で令和5年度に実施中のもの、さらに令和6年度実施予定の改修が終了すると、同年度末での洋式化率は59.5%となる。令和7年度以降も切れ目なく順次整備を行い、早期に環境を整えるよう努めていく。

## 消防

問 消防業務に必要な人材育成研修計画や公的資格取得計画の進捗状況は。

答 若手職員の増加に伴い、職員の人材育成が喫緊の課題となっており、年度初めに研修など実施計画を作成し、全職員へ通知している。令和4年度の研修実績は、静岡県消防学校の初任科をはじめ、救急科、救助科、警防科など9つの研修へ21名を派遣した。また、消防大学の火災調査科へ1名、救急救命研修所の救急救命士養成研修へ1名を派遣し、合計23名の職員が各種研修を受講した。令和4年度の免許・資格などの取得状況は、衛生管理者免許、潜水士免許、予防技術検定、無線従事者講習、玉がけ技能講習などへ24名が受験、受講し、各種免許・資格を取得した。

## 広報

問 プロモーション事業の費用対効果は。

答 うなぼんの啓発用品やグッズ関係経費のほか、Instagramでの広告配信などが主な経費となっている。うなぼんのX（旧：ツイッター）アカウントを令和4年11月に開設した以降、着実にフォロワー数が増加していること、令和5年3月に販売した第1弾のキーホルダーグッズはすぐに完売するなど、うなぼん人気も上々で、一定程度の効果が出ているものと捉えている。今後、ふるさと大使との連携を含め、プロモーション事業の各取組みの効果を高め、本市の知名度の向上や、職住近接による人口の定住化につなげていきたい。

## 子育て

問 出産・子育て応援事業の成果と課題は。

答 伴走型相談支援として、どの妊婦さんにも母子健康手帳交付時、妊娠8か月前後、赤ちゃん訪問の時期には、面談やアンケートをして心身の状態を確認している。その中で、気になることや心配な状態である方を見つけ、教室に誘ったり個人的に面談や訪問などで支援を続けたりするといった形で伴走型の支援を行っている。また、経済的支援は、より早く妊産婦さんにお届けできる方法として、現金給付の形としている。周囲に頼れる人がいない、または不安が強い妊婦さんを見落とすことなく発見し、支援していけるような体制づくりが不可欠である。そのための適正な人材を育成していくことが課題であると考えている。

# 9月定例会ではこんなことが決まりました

<b>9月 定例会</b>  会期 9月4日～10月4日	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の一部改正 ……………	3件
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例制定 ……………	2件
	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算 ……………	6件
	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度決算 ……………	7件
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ……………	5件
	合計	

この中から3つの  
質問を紹介します!!

## 議案第71号

### 湖西市看護師養成修学資金貸与条例を制定

将来、市内の医療施設で看護師として働く者へ修学資金を貸与し、市内の医療施設の看護師を確保することを目的とした条例で、全員賛成により可決した。

**問** 湖西病院以外の市内の医療機関に勤務する場合も対象とする理由を伺う。

**答** 令和5年3月27日に、安全・安心で質の高い医療を提供することを目的に、浜名医師会および浜名病院と湖西市における持続可能な医療提供体制を確保するための連携協定を締結した。民間の医療施設を含めた看護師人材の確保は、地域医療を守っていくための市の重要な責務であるとの認識から、対象を湖西病院に限定せず市内の医療施設に勤務を希望する者とした。

## 議案第81号

### 令和5年度湖西市一般会計補正予算（第7号）を可決

#### ● 庁舎に可動式ブースを設置

庁舎管理運営費 **550万円**

オンライン会議に対応する可動式ブースを設置するため、備品購入費を増額

**問** 可動式ブースの仕様と設置場所を伺う。

**答** ブース自体は電話BOXのような密閉されたもので金具により床に固定する仕様となっている。4人用のサイズは、幅2.2m、奥行き1.4m、高さ2.4mとなっている。また、キャスターが付いており、床固定金具を取り外すとブース本体を移動することができる。設置場所は、庁内インターネット通信環境から、庁舎2階、南側の市長公室西側の現在打合せスペースとして使用している場所となる予定である。

## ● 学校再編基本計画の策定に向けて 教育施設整備費 40万2千円

白須賀地区と北部地区における学校再編の基本計画を策定するため、検討委員会に係る報償費などを増額

問 学校再編基本計画の概要を伺う。

答

基本計画は、白須賀地区では「どの中学校と統合するのか」、北部地区では「小中一体型にするのか」「中学生は岡崎中学校に通うのか」について、複数の校舎配置案の中から検討するなど、今後の事業スケジュールを含め、学校再編を具体的にしていく。

また、スクールバスの運行を含め、安全な通学方法についても検討していく。このほか、検討委員会の運営支援などを行う予定である。

## 賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	相曾桃子	山本晃子	寺田悟	山口裕教	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	楠浩幸	佐原佳美	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	神谷里枝	二橋益良	
72	湖西市農地等災害復旧事業分担金徴収条例制定について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和5年度湖西市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
86	令和4年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
87	令和4年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席。 ※議長(馬場 衛)は採決に加わらない。

## 本会議での討論

### < 議案第72号 >

#### 湖西市農地等災害復旧事業分担金徴収条例制定について

### ● 反対

農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定処置の法律では、林業、漁業も対象としているが、本条例は農業のみである。

湖西市の現在の林業者は0人で、漁業は市が港を管理しており個人負担はないとの見解だが、今後、林業者の若者がでてくることや、漁業者の個人負担が発生する可能性もある。本条例では林業者や漁業者に被害が発生しても手を差し伸べることができない。将来も見据えて条例を制定し、林業者と漁業者も対象にするべきである。

## <議案第81号>

### 令和5年度湖西市一般会計補正予算

#### ●反対

歳出2款1項1目 庁舎管理運営費について、庁内に会議室がないためにブースが必要というのは理解ができた。ブースの使用目的がウェブ会議としたときに、一般的には自席で会議に出席するものと考え。現状年間千数百回のウェブ会議を実施しているが、4人用と2人用の二つのブースで実質稼働日が約250日だとすると物理的にも不可能である。使用目的など本質を考えた時、可動式ブースに550万円をかける必要があるのか、アルミのパーティションで経費を削減して、余ったお金を市民のために使うことができると考える。この部分についてもう一度考えていただきたい。

#### ●反対

債務負担行為のバイオマス発電調査について、3つの点で反対する。1つは緊急性が感じられない。2050年カーボンニュートラルまで27年もあり、1年遅れても支障がない。2つ目に太陽光の次はバイオマス発電しかないような発言があるが、「ペロブスカイト太陽光発電」は2年後には実用化され、費用対効果がこちらの方が数段優れている可能性がある。バイオマス発電の取組みが必須ではない。3つ目に変動要素が多いと労力がかかり、いい加減な報告書になる。はっきり下水と污泥処理の在り方で方向性が決まり、その後、バイオマス発電の調査をした方が問題がない。

ペロブスカイト太陽電池…従来のシリコン系太陽電池と比較して製造過程が簡単で低コスト。実用化に向けて研究が進められている。

## <議案第86号>

### 令和4年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について

#### ●反対

国の誘導のもとに多くの自治体が、人口大幅減の推計を前提にした立地適正化計画を立てている。そのもとで中心部には行政投資を集中して乱開発をおおる。郊外では公共施設の統廃合などを進める。これではまちの衰退計画でしかない。マイナンバー制度においても国の言いなりになるのではなく、市民に対してリスクの説明をするべきである。長引く不況と財政難の時こそ、市民の暮らしや営業、福祉を守ることを最優先するべきであると考え。

#### ○賛成

経済活動の回復を背景に法人市民税が前年度から増額し、企業収益の改善が感じられた。財政運営面は、市の貴重な財産である財政調整基金を確保しつつ、公共施設整備基金の水増しができており、将来に向けて財政の健全性と継続性についても考慮されている。歳出においては、新型コロナウイルス感染症などの影響への支援や、物価高騰対策事業を行うなど、スピード感を持って対応している。大倉戸茶屋松線整備事業および環境センター再稼働工事などの建設事業や、岡崎小学校トイレ改修工事や岡崎中学校武道場天井等落下防止などの教育環境整備も着実に事業を進めている。

## <議案第87号>

### 令和4年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### ●反対

高すぎる国保税に全国で住民が悲鳴をあげ、滞納世帯は289万、全加入世帯の15%を超えている。無保険になったり、正規の保険証を取りあげられたりするなど、生活の困窮で医療機関の受診が遅れたために死亡した事例が後を絶たない。高すぎる保険税を引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入、国庫負担を増やすしかない。低所得者や家族が多い世帯に負担の大きい「均等割」「平等割」を廃止し、「逆進的な負担」をなくして所得に応じた保険税にすべきである。

#### ○賛成

国保税の税率改定において令和4年度には資産割及び介護保険金課税被保険者に係る世帯別平等割を廃止するなどの改正を行っている。県の特別交付金における保険者努力支援の項目では、2,693万1千円の交付を受けていることも確認できた。歳出に関しては88%の方に対して高額療養費を自動償還し、市民の利便性の向上、事務の効率化を図っていることが確認できた。国民健康保険の加入者の減少やコロナ禍による受診控えなどの影響により、特定健康診査の受診者数や特定保健指導の実施者数が減少している。湖西市は国民健康保険事業の健全な運営に最大限の努力をしているものと評価する。

# そこが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。今回の定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会 再生リスト  
令和5年9月定例会

湖西市議会公式サイト ウェブサイトで本会議・議員ごとの映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



### 老人クラブ活動について

**問** 老人クラブを活性化する方策は。

**答** 令和4年度に、老人クラブ連合会及び単位老人クラブ代表者と老人クラブ活性化会議を計6回行い、クラブの活性化に向け3つの活動方針を決めた。一つ目は、魅力的なクラブ作り。シニアスクール等へ積極的な参加を呼びかけた。二つ目は、会員を増やす施策の展開。連合会で勧誘チラシを作成し、配布した。三つ目は、周知とPRである。今後は、自治会と連携してクラブの存在価値をアピールする方法や手段の協議を進め展開する。



竹内 祐子 議員



### 新居弁天公園の再整備について

**問** 誰もが利用できるキャンプ場についてはどう考えているか。(水洗い場、トイレなど)

**答** 来年春頃のオープンを予定している「浜名湖パークビレッジ」は、トラストリング(株)が、バリアフリートイレや身体の不自由な方でも利用しやすい駐車スペースの設置など、公園施設内はバリアフリーで整備を予定している。また、駐車場からキャンプエリアまで距離があり、道具の運搬などに不便なため、利用者の専用駐車場をエリア近くに設置し、利便性にも配慮した整備を進める予定である。

### 準用河川の豪雨災害予防対策について

**問** 豪雨による民家への浸水を防止するための対策はどのように進めていくか伺う。

**答** 最近の浸水被害の原因は内水氾濫である。市内には、浜名川や日の岡川の河口など3カ所に排水機場が設置されており、浜名湖の水位が上がり排水できない場合は、河川の接続部の水門とポンプで強制的に排水する方法がある。想定以上の水量が河川に流れ込み、河川堤防を越えて浸水してしまうことの防止対策は、河川の流域などを調査し、近年の増大する降雨量に耐えられる河川整備を検討していく。

**問** 境田川など未回収の準用河川の改良整備を今後どのように進めていくか。

**答** 河川整備には多額の予算が伴い、全てを一度に検討や整備をすることは困難だが、準用河川にかかわらず、床上浸水等の被害が確認された河川や排水路は、順次改修計画を検討する予定。本年度は令和4年度に床上浸水の被害があった準用河川大沢川の浸水対策の検討業務を行う。また、準用河川ではないが、境田川の上流部など、市街地を流れる未整備な河川も今後検討したい。



山口 裕教 議員





## 農業の持続的発展と魅力的な儲かる農業を目指して

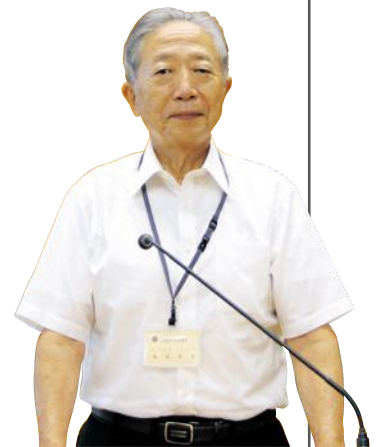
**問** 農業従事者も高齢化が進んでおり、高齢を理由に続けることが困難な農家もある。そのような農家の意向を市として把握しているか。

**答** 地域の農業者の話し合いによる意向把握を行い、農業の将来の在り方や農用地の効率的かつ総合的な利用のため、目標地図と地域計画を令和7年3月までに作成することを目標としている。本市も、人・農地プランなどにより、令和5年度中に白須賀、新居地区、令和6年度中に知波田、新所・入出、鷺津地区の目標地図と地域計画策定のため市や農協、改良区などの関係機関と農業者が課題を共有し、解決に向け共に考えていく。

**問** スマート農業の実践などによる作物の付加価値を高めるような取り組みに対する市の考えは。

**答** 令和4年度に臨時交付金を活用して「農水産業省エネ機械設備等導入支援事業費補助金」を創設し、省力化のための農薬自動散布用ドローンの購入やIoTを活用した畜舎の温度、湿度管理システムなど、スマート農業の積極的な導入を支援した。また、将来の担い手も見込まれることから、吉美地区でスマート農業が行いやすい農地の整備を県などと事業化に向けて進めている。引き続き、農業者と共に考え、付加価値の高い農業ができる環境整備に努める。

IoT…インターネット オブ ジングスの略称。  
様々なモノがインターネットに繋がる仕組みのこと



黒木 幸夫 議員



## 新居跨線橋の存続に関する要望書について

**問** 要望書を提出した時に、撤去存続の最終判断は道路管理者である市の判断を待つとの事であったが、判断の内容を伺う。

**答** 存続する場合、これまで競艇企業団で実施していた道路や橋梁の維持管理や補修・改修を市が実施することになり、財政的な負担が大幅に増加する。撤去をする場合、周辺の道路へ及ぼす影響が懸念される。令和6年には、令和3年度と令和4年度に競艇企業団が実施した跨線橋周辺の交通量調査に加え、令和6年2月頃実施する予定である交通量調査を総合的に検証し、競艇企業団と共に方針を決定する予定である。

**問** 新居跨線橋の長寿命化工事の実施による存続又は代替機能を有する道路の整備について、市の考えは。

**答** 大倉戸茶屋松線の開通で中心市街地へのアクセス分散による渋滞緩和を期待する。供用開始から一定の期間を経過した後には計測する交通量調査により関所周辺の交通事情へ及ぼす影響の検証を行う予定である。また、現在は未整備である新居弁天ICから泉町交差点までの浜名弁天線や浜名線を整備することで、浜松方面から国道301号新居関所前を通過する車両が分散され、渋滞緩和を図ることができる代替路線になると考える。



加藤 治司 議員



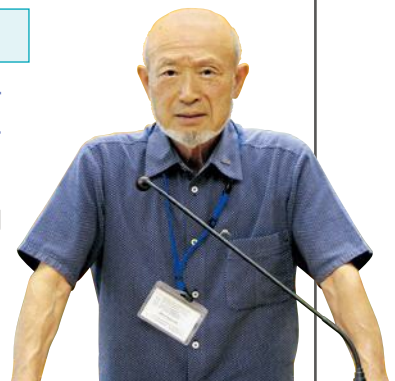
## 選挙公報と選挙の公費負担について

**問** 選挙公報を届ける方法の改善点について、スピードアップに対する市の考えは。

**答** 現在も実施しているウェブサイトへの掲載に加え、今後は新聞折り込み、公共施設窓口への配架で対応することを予定している。

**問** 選挙カーの公費負担を再検討する時代になったと思うが、市の考え方は。

**答** 選挙カーの使用と獲得票数の相関関係は明確になっておらず、選挙カーを使用するかどうかは候補者の考え方によるところがあるため、公費負担が不要であるとの機運が高まったら検討したいと考える。



三上 元 議員



## 小中学生の放課後の居場所づくりについて

**問** 新居体育館の卓球室は予約制でないが、なぜ勤労者体育センターの卓球室は予約制なのか。

**答** 新居体育館は、ほとんどの利用者が卓球台単位ではなく、個人での利用となっている。また、個人利用が多くなった場合については、利用者同士で使用時間を調整していただいている。一方、勤労者体育センターの卓球室は、個人より卓球台単位での利用のほうが多くなっている。現在のところ、利用者から使用方法や使用料金について特段ご意見も

いただいていることから、各施設の実情に合わせて運用しているところである。

**問** 勤労者体育センターは、一般人(専用利用者以外の人)に対する開放日はあるか。

**答** 体育室のみではあるが、毎月2回、第1・第4日曜日の午前中に限り、市民が利用しやすいよう、一般向けに開放日を設けている。



土屋 和幸 議員



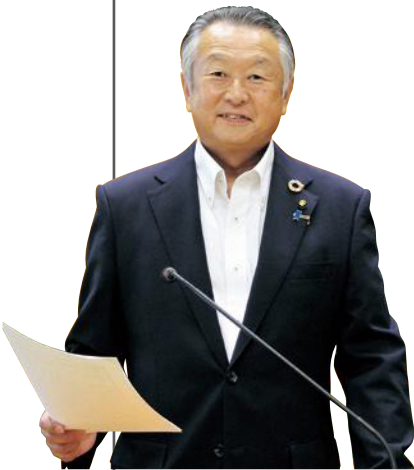
## 小中学校におけるいじめ問題対策について

**問** いじめ事案の発生・認知時における現場学校からの市教育委員会、市、関係機関への報告体制、対応指針や具体的な対応要領、専門家の配置などは。

**答** 教育委員会には、軽微なものでも毎月報告し、緊急に対応する事案やいじめ重大事態の恐れがある事案は、早急に報告している。重大事態の場合は、教育委員会から市長へ報告し、学校へ適切な対応をするよう判断、指示をする。定期的に開催している校内いじめ防止対策委員会には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが参加し、複眼的な視点を持っていじめ事案に対して協議をするよう方針を示している。

**問** 未然防止に向けた教育者側と生徒側の両者への具体的な対策やいじめ問題対策の方針に関する改善点は。

**答** 児童生徒には、具体的な行動の明示や、日常生活の中で事例を挙げたりして、様々な場面でいじめに対して考える時間を設けている。教員には、児童生徒が人権意識や共生意識を育むことができるように発達支持的な生徒指導を行うよう周知を図っている。弁護士や心理士を講師とした教職員のいじめ理解と対応力向上を目的とした研修会の実施や、いじめの早期発見のためのアンケートの見直しなどを行った。



寺田 悟 議員



**その他の質問** 被災者支援制度について、自治会要望の処理状況について

## 不登校問題について

**問** 学校で学べない子どもの教育を受ける権利が保証される必要があるが、市としての対策は。

**答** 学校には来られるけど、教室には入れないという子に対しては、校舎内の相談室などで学習機会の確保をしている。また、チャレンジ教室へ行って多くの人数とかわかることもできると考える。学校に行けない、家を出られないという子に対しては、定期的な家庭訪問を担当が行い、授業で使った教材やプリント類を渡し、また次に訪問したときにその教材やプリント類を確認するというを行っている。

## 市内企業工場閉鎖の影響について

**問** 市内企業の工場閉鎖の影響をどう捉えているのか。

**答** 市内企業には、雇用の創出やこれまでも様々な地域活動など、日頃の地域貢献に大変感謝をしている。工場閉鎖については、企業の経営判断でやむを得ないと考えているが、その上で、閉鎖の影響が大きくなるよう、雇用や土地活用についてコミュニケーションを取りながら、市としてもできる対応をしていきたいと考えている。



荻野 利明 議員



## 湖西市立小中学校の再編について

**問** 湖西中学校区に係る方針について、子育て世代の理解は得られているのか。

**答** 令和5年3月に実施した子育て世代の方を対象にしたアンケート結果では、「小中一体型とする」「小学校は統合する」と回答した割合は7割を占めた。鷺津小学校や岡崎小学校へ通学希望の意見があることを理解しているが、湖西中学校を候補地とし、ここに東小学校と知波田小学校を統合することで、地域のコミュニティ機能を活かすと共に、子どもたちが豊かな体験をし、自己を伸ばしていく環境が整っていくと考えている。

**問** 「学校再編検討委員会」の構成や検討内容は。

**答** 白須賀地区、北部地区それぞれに設置し、学識経験者、保護者代表、地域住民代表、学校長で構成する。施設整備、通学方法、人権や共生感覚を育む教育の在り方などを検討する予定である。また、白須賀地区では「どのような形で近隣の中学校と統合するのか」北部地区では「小中一体型の施設とするのか」それとも「中学校から岡崎中学校に通うのか」についても検討を進める。



神谷 里枝 議員



## 新所幼稚園のハードおよびソフト面の整備計画について

**問** 発達に課題のある子どもの支援拠点として、計画している支援メニューとその準備状況は。

**答** 「未就園児の親子を対象とした発達支援教室」「保護者や子どもが在籍する園の先生方からの相談の受け付け」「保護者や園の先生、市民向けの講座など、子どもの支援者となる方々に対する支援」の3つの支援メニューを新所に開設予定の子育て支援拠点で実施する計画である。現在、職員の相談支援スキルの向上を目的に他市への研修派遣を行っており、現行事業を更に充実させるために準備を進めている。

## 産後ケア事業の更なる推進について

**問** 次世代育成支援対策施設整備交付金を活用して、市内に産後ケア施設を開設する予定はいかがか。

**答** 産後ケアを専門とした施設を開設することも選択肢の一つではあるが、現段階における妊産婦さんのニーズへの対応としては、何が効果的なのかを見極めて、産前産後のケアに関する現行制度の運用の仕方を改善しながら充実させ、妊産婦さんの不安解消に努めていきたい。湖西病院に助産師外来が開設されたことから、乳房マッサージなどのケアを受けやすくするなど、内容の充実に向けて検討している。



佐原 佳美 議員



## 湖西市地球温暖化対策実行計画策定について

**問** 公共施設のZEB化に対する市の考えは。

**答** 2021年10月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、事務所ビル・商業施設などの建物において2030年度比51%削減するといった目標が設定されており、建物でのエネルギー消費量を大きく減らすことができるZEBの普及がカーボンニュートラルの実現に向けて求められている。「市内の公共施設のZEB化」については、今後、新築や大規模改修に併せて対応すべく、調整していく。

**ZEB** …ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称。快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを旨とした建物

**問** 森林環境税創設に伴う譲与税の見込額と用途について市の考えは。

**答** 森林環境譲与税は森林の整備や木材利用促進等、市町の状況に合わせ活用でき、令和6年度からは約1,000万円が交付される見込みである。令和元年度に森林環境基金条例、令和3年度に森林保護整備事業費補助金を創設し、白須賀など市内での荒廃森林の再生を行っている。今後は湖西連峰ハイキングコースの維持管理や公共施設の木質化などにも活用を検討している。また、里山への活用は研究を進めていく。



楠 浩幸 議員



## 歯科口腔保健の推進について

**問** 乳幼児歯科健診が現状の方法で歯や口腔の健康を保てるか、事業の成果と課題は。

**答** 健診時などの歯科に関するアンケートは発育や発達を確認する目的で行い、相談支援に役立っている。令和元年から3年の調査において、3歳児健診のむし歯を持つ子どもの割合は9.2%から4.6%へと減少傾向である。乳幼児は7～8か月児、1歳児、2歳児のタイミングで歯科指導を実施している。健診結果から、現在の乳幼児の歯科保健事業の効果はあり、特段の課題は無いものと認識している。

**問** 妊婦歯科健診を実施していない理由は。

**答** 母子健康手帳交付時の面談などの機会を捉えて、個々に歯科健診の必要性を伝えているが、助成金による受診勧奨はしていない。近隣市が実施している助成金による勧奨の効果を検証し、参考にして考えていきたい。歯の健康は心身の健康にもつながると認識しているため、健診の目的やその効果の周知が最も重要であると考え、歯科健診の必要性を継続して伝えていく。



相曾 桃子 議員



## 湖西市における太陽光発電について

**問** 市民から不安や心配の声が届いている二つの発電設備について、損傷原因と土砂流出の危険性、市の調査の有無及び見解は。発電事業者との話し合いはしているか。

**答** 事業者の遵守事項などを示した「本市ガイドライン」を策定した平成31年4月よりも以前に着手されたものである。降雨により斜面の地盤が浸食し、土砂が流されたものと判断される。斜面を安定させるための対策が必要と考え、事業用地を保安する対策とその対応時期について事業者に報告を求め、一つは対策の実施を計画中との回答を得ている。引き続き、事業者に対し早急な対策の実施について求めていく。

**問** 景観、観光、自然環境の観点から、発電設備との両立をどの様に推進するのか。

**答** 本市のゼロカーボンシティの実現には再生可能エネルギーは必要不可欠なものと判断している。発電設備の設置にあたっては、災害の発生、動植物の生態系の破壊、優良な農地や他の土地利用への阻害、優れた景観や周辺地域に対する影響が出ないなど、自然環境などとの調和による推進を考えていく。

その他の質問 いじめについて



山本 晃子 議員



## ぼうちょう 議会の傍聴 インターネット中継

議会の傍聴



湖西市議会  
インターネット中継



実際の議会を議場で見ることができます。詳しくは市議会のウェブサイトをご覧ください。

また、本会議の映像をYouTubeで配信しています。こちらからご覧いただけます。

# 議会報告会を開催します

「市民が主役で活発な議論をする見える議会」を目指して、議会報告会を開催します。地域の課題など参加者と議員との意見交換を中心に行いますので、ぜひご参加いただき、ご意見ご要望をお聞かせください。

なお、感染症の流行などにより急遽開催中止とさせていただく場合がございます。

## 会場、日程

会 場	日 程
鷺津コミュニティ防災センター	1月15日（月）
新所むつみ荘	1月15日（月）
源太山公民館	1月15日（月）
南部構造改善センター（会議室1・2）	1月17日（水）
西部地域センター（講座室1・2）	1月17日（水）
三ツ谷公民館	1月17日（水）
入出集落センター	1月19日（金）
古見公会堂	1月19日（金）
北部多目的センター（講座室）	1月19日（金）

## 開催時間

19時00分から20時30分まで（受付は18時30分から）

## その他

予約申込は不要です。対象地域の指定はありませんので、当日最寄りの会場へお越しください。

# あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後  
どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.202 掲載 (令和5年1月31日付発行)

- **政府の新規事業「妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援」の湖西市版制度設計(体制整備)について**

**問** 「産前産後ヘルパー」派遣事業を開始してはいかがか。

**答** 助産師による訪問型の産後ケアについては令和4年度から追加したが、育児サポーターについては市内に事業者がないため、市外に所在するベビーシッター事業者や育児サポーターなどの派遣事業者を利用するか、シルバー人材センターなどに家事の援助をお願いするというのが現状である。市としては、現時点では、事業者に関する情報を集め、対象者に提供していくことに努めていきたいと考えている。

## 追跡してみると…

令和5年4月1日から産前産後ホームヘルプサービス利用費助成金制度を開始しました。民間事業者の実施するホームヘルプ(家事代行)サービスを利用すると、事業者へ支払った費用に対して助成が受けられるようになりました。



詳しくはこちらから

## 市議会からのお知らせ

### 「ぎかいのひろば」を スマホでも!



**マチイロ** を使えば、「ぎかいのひろば」を  
スマートフォンで読むことができます。  
(※別途通信料が掛かります。)

#### 利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



編集:広報特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎加藤 治司      ○相曾 桃子      山本 晃子  
寺田 悟          山口 裕教      滝本 幸夫

## 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29 10:00~ 本会議第1日	30	12/1	2
3	4	5	6 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	7 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	8 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	9
10	11	12	13 10:00~ 本会議第5日	14 10:00~ 総務経済 委員会	15 10:00~ 福祉教育 委員会	16
17	18 10:00~ 建設環境 委員会	19	20	21 10:00~ 本会議第6日	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4	5	6

予定が変わることもありますので、最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

次回は  
**令和6年1月31日** 発行予定です

発行/湖西市議会  
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地  
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331  
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会  
公式サイトも  
ご覧ください

